

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 28 日作成)

小委員会名	複雑系の数理科学とアルゴリズムミック・デザイン小委員会	主 査 名：池田靖史 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：加賀有津子
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複雑系の数理科学を応用したアルゴリズムミック・デザインの研究</li> <li>・ 研究集会、シンポジウム開催等を通じた研究成果の発表と情報提供</li> <li>・ アルゴリズムミック・デザインの国際シンポジウム開催</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：池田靖史池田靖史 (慶應義塾大学) 幹事：木村謙 (エーアンドエー) 委員：朝山秀一 (東京電機大学)、大崎純 (京都大学)、三井和男 (日本大学)、佐藤祐介 (日本防災研究所)、陳沛山 (八戸工業大学)、新宮清志 (日本大学)、瀧澤重志 (京都大学)、濱野慶彦 (エーエーラボ)、堀池秀人 (熊本大学)、前稔文 (大分工業高等専門学校)、松永直美 (レモン画翠)、渡辺誠 (アーキテクトオフィス)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2010 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス <a href="http://aij.cn.cst.nihon-u.ac.jp/modules/fukuzatsu7/index.php?id=1">http://aij.cn.cst.nihon-u.ac.jp/modules/fukuzatsu7/index.php?id=1</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. コロキウム「構造形態の解析と創生 2010」(構造委員会] シェル・空間構造形態創生小委員会、形態創生と構造最適化小委員会と共同開催) 参加者数 96 名 『同名資料』  *ほかに、「International Symposium on Algorithmic Design for Architecture and Urban design (建築と都市のアルゴリズムミック・デザインに関する国際シンポジウム)」を予定 (登録参加者 180 名、論文投稿 65 件) していたが、東北地方太平洋沖地震の影響により開催を延期した。
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 国際シンポジウムには国内外 17 カ国参加登録、65 件の論文投稿を受け付けた 2. シンポジウムの資料集は暫定的にウェブで公開した 3. 延期開催前であるが、この分野の日本での活動を発信することができた
委員会活動の問題点・課題	1. 延期シンポジウムの開催による国際的研究コミュニティの継続 2. 一般社会へのアルゴリズムミック・デザインの理解と普及
その他	